

U-14 鹿児島遠征の成果と課題

第12回始良地区中学生招待サッカー交流会

2013/02/16(土曜日) 鹿児島高専グラウンド(クレー)

予選リーグ

長崎県U14 vs 宮崎地区トレセンU14 2-2

長崎県U14 vs 始良西トレセンU14 3-0

2013/02/17(日曜日) 国分陸上競技場(芝) 決勝、国分多目的広場(芝) 準決勝

準決勝

長崎県U14 vs 鹿児島市選抜U14 4-0

決勝

長崎県U14 vs 鹿児島県トレセンU14 2-2 延長1-0 合計3-2

チームコンセプト

全員攻撃・全員守備(攻守に数的優位を)

テーマ

(攻撃)

相手陣地に入り込む → 多くの決定機を作る → ゴールを奪う

(守備)

囲い込んで奪う → 強固なブロックを作る → ゴールを守る

(切り替え)

攻守の切替を0.5秒前にする → 攻撃・守備態勢を整える → ゴールを奪う・ゴールを守る

成果と課題

システムは、1-4-3-3。

攻撃

(成果)

ボールの近くでのサポートと幅と厚みをとる選手とのバランスが良くなり、相手陣地に入り込むことができた。相手陣地でサイドを起点にしながらSBのオーバーラップから突破。中央でボールを動かしながらSHの飛出しから突破。サイドを使いながらボールを動かし中央に入り込んでミドルシュートなど、少しずつではあるが、コンビネーションから決定機を作れるようになった。

(課題)

組立ての場面で近くの選手につなぎプレッシャーをうけて奪われる。→(FWへの縦パスの意識を持つこと。パススピードを上げること。)

相手陣地では、早く仕掛けすぎて(ドリブル、スルーパス)シュートに持ち込めない。→(もっとサイドチェンジをつかいながら相手の薄いところを突破すること。)

②守備

(成果)

スタートポジションが良くなり選手間の距離が保てるようになった。
サイドに追い込み意図的に奪う場面がでてきた。

(課題)

ボールへのアプローチが緩く限定できずにボールを奪えない。→(ボールを奪う意識でアプローチすること。)
最終ラインでのボールホルダー(FWがくさびの縦パスやスペースに流れてボール保持したとき)へ奪いに行き、入れ替わられる。→(突破されないこと・遅らせること。)

③切り替え

(成果)

攻撃→守備は、すぐに取り返そうと集結はしていた。
守備→攻撃は、ボール周辺でのかかわり(パスラインの確保)がでてきた。

(課題)

攻撃→守備は、ボールへアプローチせずに止まってしまう。→(ボールを奪いにいく。止まらない。)
守備→攻撃は、ボール周辺のパスラインの確保と突破をねらう人・幅をとる人、全員のかかわりが必要

④まとめ

今大会では、FP13名中5名は初参加であったが、個のスタイルをチームに活かし素晴らしいプレーを発揮した。チームスタイルの共有と個のスタイルをチーム全体(選手・スタッフ)が知りチームに活かすことがとても重要であることを認識した。選手が何人か入れ替わりながらも、自分たちのチームスタイルでゲームする時間が増えてきた。今回初参加した選手は、十分戦力となり選手層の厚みはできてきている。ただ、個・チーム全体のレベルアップはもっと必要なので一緒にプレーする時間は少ない中で、少しずつでも積み上げできるようにプレーの質を上げていきたい。

大会直後および県のリーグ戦が始まる直前に選手を快く派遣して頂いた、チームスタッフ・関係者に感謝しております。今後も長崎県トレセンの活動に協力をお願いします。